

未来を創造する次世代の力

東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム

Elapsed Time: 600 (sec)

← Evacuation site

災害科学国際研究推進プロジェクト

東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻(博士1年)
グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

牧野嶋 文泰

東日本大震災の発生，人生の転機

- 2004年 新潟県中越地震
- 2007年 群馬工業高等専門学校 入学
- 2011年3月 東日本大震災
- 2011年9月 東日本大震災津波避難合同調査団参加
- 2014年 群馬工業高等専門学校 卒業
- 2014年 東北大学 大学院(津波工学研究室)
リーディング大学院(グローバル安全学トップリーダー育成プログラム)
- 2015年 国連防災世界会議
- ↓ 現在に至る



IRIDeS
International Research Institute
of Disaster Science
災害科学国際研究所

G-Safety
SCIENCE FOR GLOBAL SAFETY

リーディング大学院での活動

減災アクション! カードゲーム



東 北大記念グッズ

ツイート いいね 16 G+ 3

ご注文はこちらから

通信販売は組合員向けのサービスです

ワイン 日本酒 ビール 食品 文具 東北大学の研究開発品 その他

減災アクション！カードゲーム

2,000円(税込)

本体価格1,852円(税48円)

海外への販売は準備中です。

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム4複合領域型(安全安心)「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム(以下、G-Safety)」の大学院生らが開発しました。

災害時にはこともな自身で「いのちを守る行動」をとって欲しいとの思いで制作した、ゲーム形式を取り入れた防災・減災教育用教材「減災アクションカードゲーム」です。

本教材は、2015年3月の国連防災世界会議で公開し、以後、地域で普及活動を実施する中で、教材として入手希望の問い合わせが多数寄せられました。

「減災アクション！カードゲーム」は、災害時の行動について、(1)問題文を読む、(2)答えの行動を示す絵札を3秒以内ことと、(3)その行動について30秒で説明することで、災害時にいのちを守るための「とっさの判断」を「自分で考える」ことを学ぶ教材です。

補足:この商品は絵札カードと問題の例題のセットです。

詳しい内容をお知りになりたい方は講習会に参加することができます。詳しくは、<http://e-safety.tohoku.ac.jp/dmac/>をご覧ください。



東北大学生協で商品化

簡単なゲームの流れ(PDF)はこちら

東北での実践活動

最近の活動例 海外での実践活動

東日本大震災で再認識された 避難の難しさ

- 車避難の問題
- 避難行動要支援者の問題

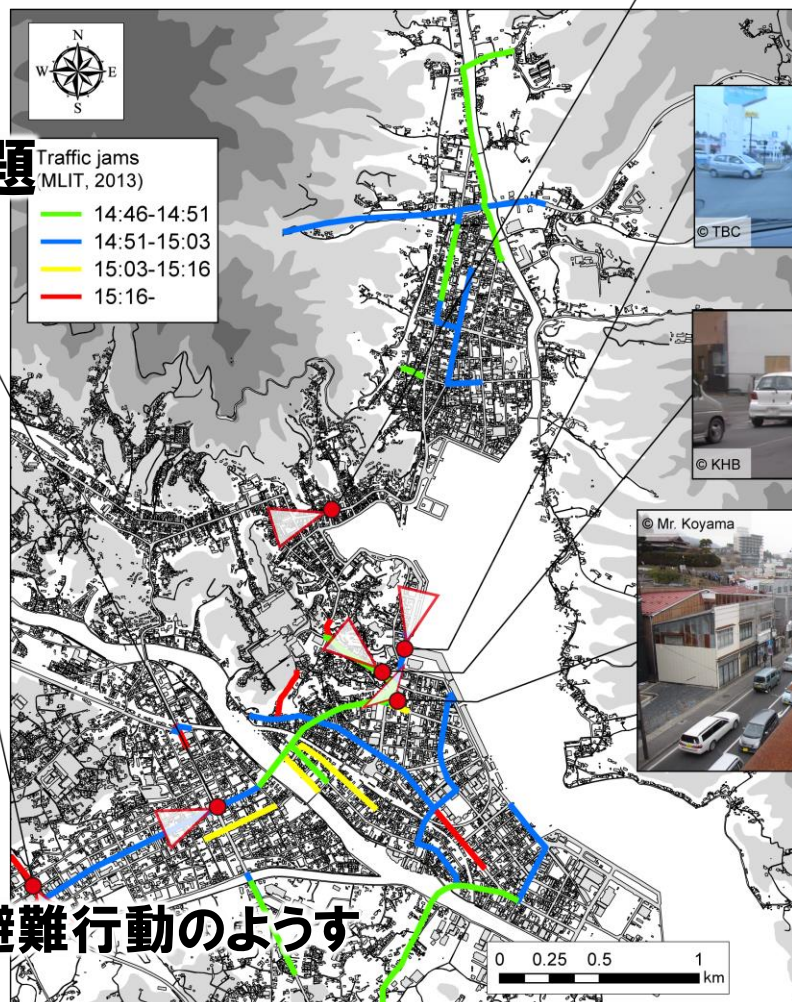
Tanaka
15:05

- Traffic light failure
- Bidirectional traffic jams
- Slow traffic flow heading to outside of inundation area



Tanaka-mae
15:09

- Traffic light failure
- Traffic congestion at the intersection
- Slow traffic flow in bypass road



Sakana-machi
15:00~15:20 (estimated)

- Time is estimated from testimony of TV crew
- Traffic situation worsened from 14:58
- Cars are completely jammed



Minato-machi
14:55

- Situation soon after the earthquake
- Start of congestion due to the initial actions



Kawaharada
15:30

- Situation soon before the tsunami struck
- Traffic jam heading to higher places
- Slow traffic flow



Uoichiba-mae
15:06

- Traffic light failure
- Chaotic traffic situation at the intersection
- Bidirectional traffic jams
- Cars are completely jammed



気仙沼中心部での震災当時の避難行動のようす
(Makinoshima *et al.*, 2016)

IRIDeS 津波工学研究室での活動

2016年 福島津波で再認識された 避難の難しさ



IRIDeS 津波工学研究室での活動



公益社団法人

みらいサポート石巻

Ishinomaki Future Support Association



現地でご協力
いただいている方々



地域の方々と協働での
避難行動調査(佐藤翔輔助教 JSPSプロジェクト)
避難行動の教訓の整理と共有

がんばろう! 石巻

気仙沼での検討例

Elapsed Time: 300 (sec)

←--- Evacuation site

**スーパーコンピュータを活用した
新しい都市避難行動評価手法の開発
より具体的な避難政策の提言, 実行へ**

©災害科学国際研究所
津波工学研究室

IRIDeS 津波工学研究室での活動



2015/10/28

気仙沼市地区別津波避難ワークショップ



IRIDeS気仙沼サテライトオフィス

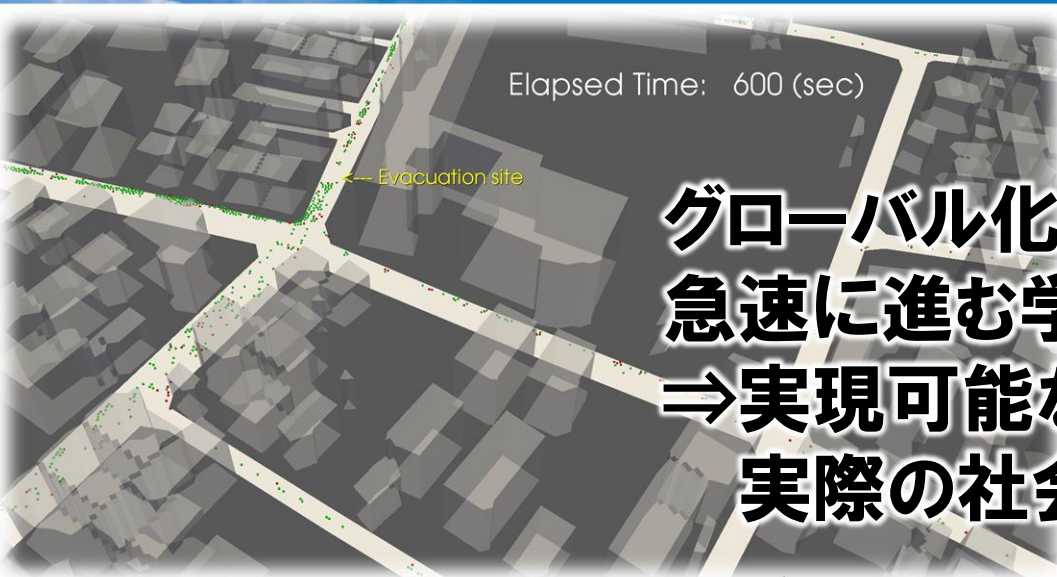
研究成果の地域展開
社会実装手法の検討
研究成果を被害低減へ結び付ける



2016/07/16

気仙沼市第13回防災文化講演会

取り組みの中での課題と考えていること



Elapsed Time: 600 (sec)

← Evacuation site

**グローバル化, 情報化,
急速に進む学問, 科学技術
⇒実現可能なことはひろがっていく
実際の社会(地域)は変わっている?**

ギャップ, 方法論の不足



何ができる?

- ・ 実践的(ローカル)なアプローチ
- ・ 研究のスキル(形式知化, 発信)
- ・ グローバルネットワーク, 発信力

etc...